



発行：澁川地区広域市町村圏振興整備組合 総務課
構成市町村：澁川市・吉岡町・榛東村

広域だより

vol. **86**
2018.6.15



澁川広域の安心・安全を守りたい!

澁川広域消防本部では現在3名の女性職員がおり、男性職員の多い現場で、負けず劣らずの活動をしています。

本号では女性消防職員の活動に注目し、記事で取り上げていますので、ご覧ください。(関連記事 P2・3)

目次(主な内容)

- ・女性消防職員活躍中…………… 2.3
- ・消防本部からのお知らせ …… 4
- ・「3ない」をなくそう …… 5
- ・組合の財政事情 …… 6
- ・プール開場について …… 7
- ・インフォメーション…………… 8

女性消防職員活躍中



消防の仕事は体力重視の男性の職場とイメージする人が多いと思います。
しかし、近年女性消防職員の活躍により住民サービスの向上等、消防活動の活性化につながる分野が多く存在しており、全国的に女性消防職員が増加傾向にあります。
また、国では女性消防職員の更なる活躍に向けた検討をしており、積極的な採用も推進しています。
このような背景のなか、渋川広域消防本部から「女性消防吏員活躍推進アドバイザー」に1名任命されました。
そこで、本号では注目度の高い女性消防職員を特集として、ご紹介いたします。

選ばれた木暮消防副士長を含め、3名の女性消防職員が在籍しています。消防士の仕事の魅力について聞いてみました。

女性だからこそできる職域の可能性を広げたい

予防課 消防副士長

木暮亜由美 (入職7年目)



今年の4月から消防本部予防課に配属にされ日勤で仕事をしています。現在の業務は、不特定多数が入り出る建物などにおいて、消防用設備の調査や検査のほか、火災が発生した場合には出火原因の調査をし、火災を予防する仕事をしています。

3月までは一日おきの24時間勤務で、消防署の消防隊員として男性職員と一緒に現場活動をしていました。その主な仕事は消防ポンプ車の機関員として管内の地理や水利の調査をはじめ、各種消防活動の訓練などです。

また、災害現場では、部隊の仲間と力を合わせ最前線で火災や救急救助活動に数多く携わっていました。

消防の仕事で一番大事なことは「準備すること」であり、その活動は多種多様で、女性消防職員が活躍できる可能性をたくさん秘めています。女性職員らしさを活かしソフトな一面を発揮しながら、女性だからこそできる職域の可能性を広げていきたいと私は思っています。

そして、この渋川広域圏内の住民の皆さんが、安心して安全に暮らせるまちづくりに貢献していきます。

女性消防職員の職場環境は？

ライフステージに応じた様々な配慮を実施

仕事に関わる能力は基本的に男女の違いはないとはいえ、現状においては、女性消防職員が極端に少ない状況であること、妊娠・出産といった母性保護にかかる配慮や、子育て期における配慮など、女性についてライフステージに応じた人事上の様々な配慮も実施しています。

女性専用の施設整備

本組合では昨年本署を改修し、女性消防職員が安心して仕事に取り組める環境配慮のため、女性専用仮眠室が整備されました。



総務省消防庁女性消防 吏員活躍推進アドバイ ザーに選ばれました！

当消防本部の木暮^{まぐれあゆみ}由美消防副士長が、総務省消防庁が主管する「女性消防吏員活躍推進アドバイザー」に就任しました。木暮消防副士長は平成32年



3月31日までの間、女性消防吏員が生き生きと職務に従事できる職場環境づくりを目的に、様々な取り組みをしていくこととなります。

女性消防吏員活躍推進 アドバイザー制度とは？

女性消防吏員活躍推進アドバイザーは、女性消防吏員の活躍の推進に必要な知識又は経験を有する有識者や消防職員から選任され、消防庁に依頼があった全国の消防本部等に派遣される制度です。女性活躍の意義、人事に関する配慮や効果的な広報活動等具体的な指導を行います。

女性消防職員にインタビュー

渋川広域消防本部には現在、活躍推進アドバイザー
今回この3名に、今まで取り組んできた仕事の内容や

女性躍進の一助となり地域住民の 皆様へ安心を届けたい

総務課付 消防士

やなぎさわ はづき
柳澤葉月

(平成30年4月採用)



本年度消防職員として採用され、4月から9月まで群馬県消防学校に入校しています。

渋川広域消防本部本年度の採用職員で唯一の女性消防職員ですが、同期の男性消防職員に負けなつもりで職務にあたりたいと思っています。

現在は消防学校で、初任教育という一番基礎となる座学や実技の教育を受けており、先輩職員に追いつけるよう時間を無駄にすることなく、早く一人前の消防職員になれるよう頑張っているところです。

消防の世界は男性色が濃いですが、女性躍進の一助となって、地域住民の皆さまへ安心を届けていけるような消防職員を目指します。

女性救急隊員だからできるソフトな 対応に心がけてきました

総務課 消防士・救急救命士

お い け な る み
尾池成巳 (入職5年目)



消防職員として採用されてからの約3年間、救急救命士の資格を活かして救急業務に携わってきました。

救急活動では、男性救急隊員と比べると体力的な差はありますが、自分にできることを実践し、ほかの隊員と協力しながら活動してきました。とくに、女性救急隊員だからこそわかる女性傷病者への対応など、ソフトな一面は男性よりも優れることと思っており、救急活動が終了したあとに傷病者や家族から感謝の言葉をいただいた時、救急隊員としてのやり甲斐を感じています。その後、結婚や出産を経て育児休暇をいただき、職場環境の良さや仲間の協力に感謝をしています。

現在は育児休暇を終え、総務課に勤務をしていますが、地域防災の要となる消防署を支える部署として職場や地域に貢献していきたいと思っています。

消防は男性の職場と言ったイメージが強いですが、女性が活躍する時代だからこそ、さらなる職場環境の向上や育児にも携える仕事として消防の仕事をアピールしていきたいです。



女性消防職員の仕事は男性と一緒に現場活動をするだけでなく、火災予防の指導や通信指令など幅広い分野があります。
本組合では今年度も職員採用試験を行います。詳しくは本号最終ページに掲載していますので、興味を持った方は受検資格等をご確認のうえ、是非ご検討ください。

女性消防職員に チャレンジして みませんか？

消防本部からのお知らせ



- ①暑さを避けること
- ②こまめに水分補給をすること
- ③しっかりと休養を取ること

熱中症に注意！

今年も暑い夏がやってきます。
昨年度、渋川広域管内の熱中症による救急搬送者は64人でした。

熱中症にならないように注意してください。
自分で水が飲めない、意識がないなど、緊急性の高い場合は、すぐに救急車を呼びましょう。

【参考：厚生労働省ホームページ】

http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/nettyuu/



飲食店への消火器の設置基準が強化されます

平成28年12月22日に新潟県糸魚川市で発生した大規模火災を踏まえ、飲食店は延べ面積にかかわらず、消火器の設置が義務づけられることになりました。

【公布年月日】

平成30年3月28日

【施行期日】

平成31年10月1日



【参考：総務省消防庁ホームページ】

http://www.fdma.go.jp/neuter/topics/fieldList4_17/pdf/h29_0623-6.pdf

指揮車・化学車を更新しました



平成29年度の車両更新事業に伴い、渋川広域消防署に配置してある指揮車（支援車Ⅳ型）と化学消防ポンプ自動車（更新をおこないました）。
指揮車を運用する指揮隊は、平成30年4月1日から群馬県緊急消防援助隊都道府県大隊指揮隊に新規登録され、国内で発生する大規模災害にも出動をします。
化学消防ポンプ自動車は、危険物火災や高気密高断熱住宅等の火災に対応する各種資機材のほか、救助活動もおこなえるよう油圧救助器具も備えています。

一日消防長行事を実施しました



平成30年3月5日に全国春季火災予防運動に伴い、一日消防長行事を実施しました。
今回の一日消防長には、ミスアースジャパン群馬2017成田美織さんを任命し、「道の駅こもち」において広報活動のほか、消防部隊訓練を指揮し、火災予防の重要性を呼びかけました。
一日消防長行事は、毎年3月と11月の火災予防運動期間中に地域住民の火災予防の意識を高め、併せて消防職員の士気高揚を図ることを目的として実施しているものです。

平成29年中(1月～12月)の火災及び救急件数

●火災 58件(前年比14件増) ●救急 5,572件(前年比303件増)

清掃センターからのお願い

ペットボトルの「3ない」を無くそう!!

昨年からお願いしてきました「ラベルはがし」が開始され2ヶ月が経ちました。近場のごみステーションではきれいなペットボトルが出されているのでしょうか？現状では、清掃センターに集まってくるペットボトルは、まだラベルがついているものがかなり見受けられます。

そこで、ペットボトルを出す前に「3ない」になっていないかチェックしてみましょう。ひと手間を加えることでごみが資源に変わります。

「3ない」とは？

- ① **キャップをはずさない**
- ② **ラベルをはがさない**
- ③ **ボトルをあらわない**

「3ない」を
変えよう!

- 1 **キャップをはずす**
- 2 **ラベルをはがす**
- 3 **ボトルをあらう**

理想のベール



今年度のベール



昨年度のベール

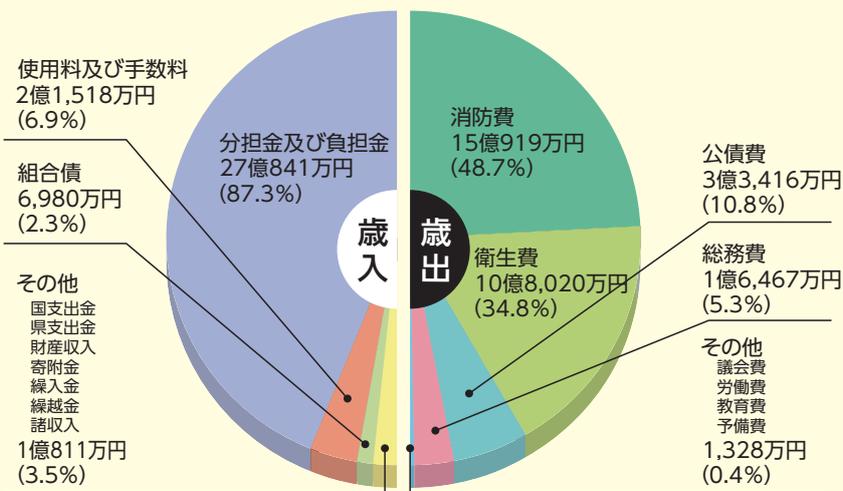


回収されたペットボトルは様々な工程を経て再生されています。リサイクルされたペットボトルは身近な製品に形を変えて役立っています。

ペットボトルのリサイクルにご協力ください!

問い合わせ先 清掃センター ☎23-0460

平成30年度一般会計予算 31億150万円



一般会計予算額は31億150万円です。前年度と比較では、9,046万円の増となりました。増額の主な理由は、人件費、公債費及び消防庁舎建設のための用地購入費の増によるものです。

平成30年度当初予算

組合の財政事情

一般会計当初予算区分の説明

歳入

- 分担金及び負担金…組合を組織する渋川市、吉岡町、榛東村が負担するお金
- 使用料及び手数料…事業所等から出される一般廃棄物のごみ処理手数料など
- 国支出金…国から交付されるお金
- 県支出金…県から交付されるお金

- 財産収入…土地貸付料、送電線線下補償料、基金利子
- 寄附金…寄附としておくれたお金
- 繰入金…積み立てていた基金から繰り入れるお金
- 繰越金…前年度から繰り越されるお金
- 諸収入…預金利子や雑収入など
- 組合債…国や金融機関などから借り入れるお金

歳出

- 議会費…議会運営に使われるお金
- 総務費…一般管理やふるさと市町村圏事業などに使われるお金
- 衛生費…夜間急患診療所や火葬場・斎場、ごみ処理・し尿処理の施設に使われるお金

- 労働費…職業訓練センターに使われるお金
- 消防費…消防救急に使われるお金
- 教育費…広域圏運動場に使われるお金
- 公債費…借入金の返済に使われるお金

組合の借入金について

借入金の残高 24億4,872万円
(平成30年3月31日現在)

ごみ処理施設 17億5,658万円

し尿処理施設 3,300万円

火葬場・斎場施設 4,230万円

消防施設・車両 6億1,684万円

平成30年度主要事業

●ふるさと市町村圏事業

渋川地区広域市町村圏が一体となった魅力あるふるさとづくりを行うための事業です。グリーンフラワー事業、広域イベント助成事業、広報事業などを実施し、圏域住民へのサービス向上をめざします。

●救急医療事業

圏域住民の常時診療体制を確立するため、在宅当番医制、歯科在宅当番医制、病院群輪番制及び夜間急患診療業務を引き続き実施します。

●火葬場・斎場事業

「渋川広域斎場しらゆり聖苑」では、さらなる住民サービスの向上を目指して、平成26年度から指定管理者制度を導入しています。

●ごみ処理事業

本年度も昨年度に引き続き、すべての祝日(年末年始及び土・日曜日を除く)のごみ受入を実施し、圏域住民へのサービス向上に努めます。また、容器包装リサイクル法に基づき、びん類及びペットボトルのリサイクルに努め、ごみ処理事業の充実を図ります。

●し尿処理事業

環境に配慮した施設の適正な運営及び維持管理を行います。

●消防救急事業

近年の救急業務出場の増加及び高度化に対応するため、救急車の更新及び計画的な救急救命士の養成を行います。

また、消防力の維持・充実強化を図るため消防ポンプ自動車の更新を行います。

老朽化した南分署建設に向け、本年度は用地を購入します。

●教育関係事業

圏域住民の健全なレクリエーションの場として利用される、広域圏プールなどの運動施設の維持管理に努めます。

渋川地区広域圏 プール開場について

●開場期間

8月1日（水）から8月24日（金）までです。
ぜひご利用ください。（天候等により閉場あり）

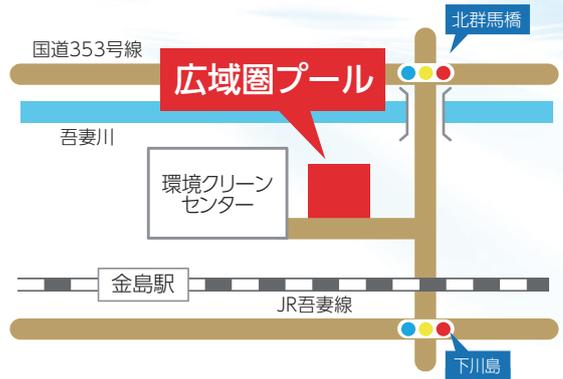
施設名	使用区分	午前	午後
		午前10時から 午後0時30分	午後1時から 午後4時30分
25mプール 幼児プール	大人	100円	100円
	小人	50円	50円

※小人とは小・中学生 ※未就学児は無料

●入場券は、プールで販売しています。

広域圏プール 渋川市川島76番地
☎24-1875（開場期間中のみ）

※昨年は設備の不具合により休場となりましたことを
お詫びいたします。



平成29年度

情報公開・ 個人情報保護制度の 実施状況

【情報公開制度とは】

広域組合が保有している行政情報について、皆さんが公開を求める権利を保障し、行政運営の公正性と透明性の向上を目的とした制度です。

【個人情報保護制度とは】

広域組合が保有する個人情報の取り扱い方法を定め、皆さんの個人情報を保護しています。

また、自分の情報開示などを求める権利を保障し、開かれた広域行政の実現を図るための制度です。

【実施状況】

平成29年度中の情報公開の請求件数は、6件でした。

また、個人情報の開示請求件数は、8件でした。

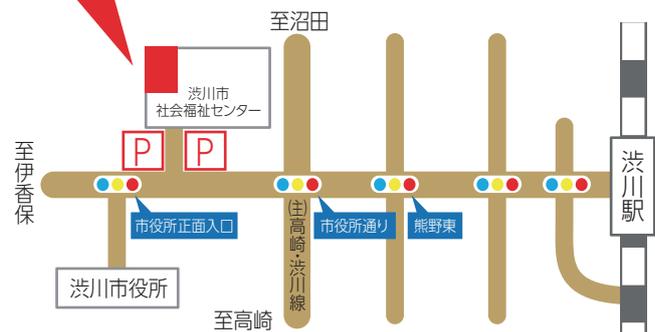
夜間急患診療所を ご利用ください

夜間急患診療所は、渋川市社会福祉センター（渋川ほっとプラザ）の1階にあります。夜間の急な発病や、けがをした時にご利用ください。



- 診療時間 毎日午後7時～午後11時
- 診療科目 初期診療:内科、小児科、外科
- 住所 渋川市渋川1760番地1
- 電話番号 ☎23-8899

夜間急患診療所





平成30年度 渋川地区広域市町村圏振興整備組合 職員採用試験のお知らせ

渋川地区広域市町村圏振興整備組合では、平成30年度職員採用試験を次のとおり予定しています。
なお、受験資格、試験日程、試験方法などの詳細につきましては、組合ホームページ
(<http://www.sknet.or.jp/>)及び各市町村広報紙で、お知らせします。

- ◆職種 一般行政職及び消防職
- ◆募集人員 一般行政職(一般事務・建築技師) 若干人
消防職(救急救命士有資格者を含む) 7人程度
- ◆申込期間(予定) 平成30年8月上旬から※申込書等は7月上旬から配付します。
- ◆試験日程(予定) 第1次試験 平成30年9月中旬 第2次試験 平成30年10月中旬
- ◆採用時期 平成31年4月1日

●問い合わせ先

渋川地区広域市町村圏振興整備組合
事務局 総務課 ☎60-5200(直通)
消防本部 総務課 ☎25-4191(直通)

※各市町村広報紙への掲載予定は

渋川市 7月15日号
吉岡町 7月号
榛東村 7月号

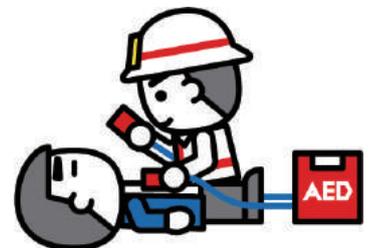


普通救命講習会の開催について

渋川広域消防本部主催による心肺蘇生法、自動体外式除細動器(AED)の使用方法などを学ぶ普通救命講習会を開催します。

- 日 時：平成30年9月8日(土) 午前9時～12時
- 会 場：渋川広域消防本部 2階会議室(渋川市渋川1815番地51)
- 対 象 者：渋川広域圏内在住、在勤、在学の方30名 ※先着順
- 認 定 証：渋川広域消防本部消防長の修了証(3年間有効)が交付されます。
- 講 習 料：無料
- 当日は動きやすい服装でお越しください。
- 講習申込先 渋川広域消防署 救急講習担当(☎25-0119)

※申込期間は、平成30年8月1日(水)から平成30年8月24日(金)までの平日9時～17時です。



火災テレホンサービスについて

渋川広域管内の火災発生状況を知りたいときは、火災テレホンサービス☎0180-99-2226へおかけください。